

学校再編についての意見交換会 意見等の要旨

対象：小牛田中学校区学校評議員

開催日時：平成28年10月13日（木）午後3時00分～

会場：中央コミュニティセンター第3研修室

参加者数：10人

（評議員）

私も1学年40人以上のクラスが5、6クラスを経験してきた。同級会で会っても名前も知らない人がある。今思うと少ない方がよかったのかなと思うこともある。

（教育委員会）

400人から500人くらいだと中規模のちょうどいい大きさではないかと思う。

（評議員）

私が心配しているのは、子どもたちの目線で通学の問題だ。小牛田、不動堂は良いとしても南郷は距離がある。授業の部分だけならよいが中学校には部活動がある。部活動は活動がさまざままでその辺まで保護できるのかが心配だ。しかし、今は複数の学校で連合チームを作ってやっていることを考慮すれば、統合の可能性もあるのかなと思う。また、子どもたちにとってクラス替えが一番基本になると思う。いろいろな子どもたちと会うことで様々なものを吸収する。しかし、南郷については遠いのでその辺が心配だ。

（教育委員会）

どこの会場でも通学の問題は出される。また、新しい学校の場所の問題も出される。場所については今の段階では何とも言えない。

南郷の一番南端の大橋地区から小牛田駅周辺まで車で、法定速度を守って30分以内で来ることはできる。同じく東側には小島という地区もある。いずれも自転車通学というわけにはならない。スクールバスでの通学になる。大型バスを使うのではなく、小さなマイクロバスを使って、子どもたちがバスに乗っている時間を短くしていきたい。南郷は平坦な地形であり集落が連なっているのでバスで子どもたちを乗せてきやすい。それから、南郷地域でも、近くの子どもたちは自転車での通学になる。

涌谷町では5台のマイクロバスを使っている。朝は1便で夕方は2便のようだ。本町でも最低それくらいの送迎は必要と考える。小牛田地域も遠い地域はバス通学になる。

（評議員）

バスも台数だと思う。

（評議員）

今の小学生は朝7時にバスに乗っているが、以前は7時前だった。中学生でも朝のバスの時間が7時前では厳しい。バスに乗っている時間が長いとかその辺の問題を解決すれば

私は1校でも良いと思う。

教育委員会では生徒数が減少しているので統合しなければならないと言っているが、本当はどうなのか。町の財政上苦しいからというのなら私も反対はしないが、ただその中で子どもたちのことがおろそかにされては困るのでしっかりとやっていただきたい。また、子どもたちのためにというきれい事だけでなく、町の財政事情についても説明をしていけば皆さんも分かってもらえるのではないか。

(教育委員会)

今の財政計画に中学校整備として約36億円を盛り込んでいる。仮に中学校を建てると小学校は建てられない。また、小牛田中、不動堂中のどちらをも建てることはできないので1校にしなければならない。南郷中学校は校舎はまだ新しいが、生徒数が90人、80人と減っていくので一緒に1校になった方が良いと考える。

現在1年間の平均で中学校費に1億5千万円を使っている。これを1校にしたら単純に3分の1にまでは少なくとも60~70%程度で済むのではないか。しかし、統合によって新たにスクールバスの運行に5千万円程度の支出が発生する。それでも財源は残るので、それを教育振興に向けている。現座考えているのは、30人未満学級の実現だ。教員の数が県から派遣される数では不足する。その不足分を町で単独に雇わなければならない。生徒一人ひとり先生の目が行き届くような学校づくりを進めていかなければならない。現在の古い校舎のまま3校体制で行うよりも、1校にして浮いた財源を教育に使うことの方が良いと考える。

(評議員)

小学校で反対があって、中学校の再編を先にとという考えだが、小学校の再編が先ではないかと思う。

田尻や涌谷の先進の事例から問題店などを聞いたらどうか。

教員の配置の面でも、400人、500人規模の学校になった方が技能教科でも正教員を確保できるので期待できると思う。

統合は閉校することになるので、1年前からDVDを作って配るなど住民への手立てをしっかりとしなければならない。

廃校後の校舎の管理、活用についてもしっかりと行っていただきたい。

(教育委員会)

小学校でもクラス替えのできる規模の学校にと考えて小学校の再編を進めてきたが、中学校の施設の現況を見ると、また生徒数も減ってきているので中学校を先にしなければならないと考えた。

小学校は、地域コミュニティの問題もあり、小牛田中学校の小学校の校舎は新しいこともある。そうしたことを総合的に考えて住民の方々から中学校が先ではないかとの意見をいただき、中学校を先に行うこととした。

中学校を新しくできれば、エアコン設置の問題、トイレの問題を解消していかなければ

ならないと考えている。

(教育委員会)

中学校は小学校に比べて地域とのかかわりは少ないのではないか。小学校は全校で 120 人も児童がいればある程度の学校運営はできても、中学校の場合は部活動があるので 100 人程度の全校生徒数では厳しい。

中学校の再編の次に小学校の再編を手掛けましょうということではない。小学校については地域、地域の実情が異なる。地域の方々の考えをもっと大切にしながら進めなければならない。

(評議員)

小学校は地域コミュニティの中にある。しかし、中学校は違う。中学生もなれば自立心も芽生えて、将来に向けた夢や目標を持つようになる。小学校の時のようにというわけにはいかない。いろいろな人と出会う機会、切磋琢磨する機会を与えない。そう考える統合するしかないと思う。ただし、小学校は別だ。

(評議員)

小学校は地域と完全に密着している。また、地域にとっては唯一の避難場所としても考えている。学校を建てる時には避難場所としての機能も想定すべき。実際に小学校の場合には使えるうちはしばらくそのままということになるのではないか。

(教育委員会)

地域の方と保護者の方とでは考え方が微妙に違う。

(評議員)

小牛田、北浦、中塚はまだ校舎が新しいから問題にはなっていない。しかし、不動堂と青生は校舎が古いので新しくしてほしいというのが親の考え方だと思う。そこで地域コミュニティのことなどが交差してくる。

中学校については、本来ならもっと早くやるべきだった。やはり子どもたちのことを考えて環境を良くしていくが何よりも大事だ。

(評議員)

5年と言わずに1年でも早く進めて欲しい。中学生にとってその1年というのが大きい。

(評議員)

教育費を削ってはだめだ。

(教育委員会)

幼稚園で一緒だった友達が小学校に入って離ればなれになってしまう。幼稚園を卒園したら同じ小学校に行くというのが理想的ではないかところた幼稚園の意見交換会でも言われた。その通りだと思うが、そのために小学校を一つにしていくにはいろいろな課題がある。

(評議員)

大切なのは子どもの目線だと思う。それによって何をしなければならないかが見えてく

る。ただ単純に一緒になるということではトラブルが増える。

(評議員)

中学校がまとまれば小学校もそう長い話ではないと思う。幼稚園単位で一つにまとまる
とか。順を追っていけば反対者も少ないのではないか。

(教育委員会)

りっぱな学校がいっぱいあるので、そこに3つが集まっても十分に対応できるくらいに
児童数は減ってくる。

(評議員)

何年かかけて中学校をやってしまえば、そんなに難しい話ではない。要は中学校をスム
ーズにやるかやらないかだと思う。

(評議員)

やはり部活動だ。遠くまでスクールバスで通うのではちょっと困るので、その辺が微妙
だと思う。

(評議員)

私は統合した後の小牛田中学校の1期生だったが、統合直後は生徒間の人間関係という
のか、いざこざがずいぶんとあった。今回も3中学校を1つにするにであれば慎重に進め
なければならない。

(評議員)

表に出る様々ないたずらならいいのだが、陰湿なのが。

(教育委員会)

今は、そちらの方が問題だ。常に子どもたちの心の状態を観察しながら対応しなければ
ならなく大変難しい。

(評議員)

小学校は1学年1クラスの単級になっているので、小学校のうちに遠足などを一緒に合
同で行うなどの交流を行えば、仲間づくりが進むのではないか。

(教育委員会)

教育長からも少し呼びかけを行っていく。

(評議員)

中学校が1校になる場合、6つの小学校が一つになるから今まで出たことが表面化して
くるので、しっかりとやらなければならない。

(評議員)

やはり親がそういうことを含めてしっかりとしつけるべきだ。学校の先生は今はそこま
でいけないので、地域、親を含めて育てていくという意識を持ってほしい。

(評議員)

保護者への説明会を行ったようだが、保護者の理解はどうだったか。

(教育委員会)

特に、強烈な反対はなかった。最初は反対と思って参加したが、意見を聴いているうちに1校になった方がよいかと思った人もようだ。

(評議員)

単級という話が出たが、幼稚園の時についた序列みたいのが小学校6年まで引きずって子育てに苦勞した。統合して人数が多くなればそれも薄まるのかなと思う。

公民館事業を充実させて小学生の交流を進めて欲しい。学校だけでなく社会教育との連携も考えていただきたい。

(評議員)

昔はジュニアリーダーがいっぱいいて事業展開もやりやすかったが、今はジュニアリーダーが少なく事業もやりにくくなっている。

(評議員)

どこの地区館でも行事はやっている。しかし、参加者が少ない。

(評議員)

今スポーツ推進員をやっているが、不動堂地区などではニュースポーツを通しての交流の場に50人、60人が集まることもある。スポーツ推進員を使ってそういうコミュニティづくりを進めて欲しい。

小学生でもスポ少などで、ほかの学校の子どもたちと戦ったりしてお互いの交流、仲間づくりが生まれている。

(評議員)

社会活動への参加機会を多くしてあげることだ。社会を明るく運動のようなものを。

(教育委員会)

跡地の利用の件だが、仮に校舎を解体した場合の土地に利用については、皆さんの意見を聴きながら決めていきたいと思う。

(評議員)

中卒小の跡地の利用については、粒子のこまい山砂が入っていて強風の際は隣家に飛ぶ。グラウンドゴルフで使っているが暗渠もないので水はけが非常に悪い。有効活用を考えて欲しい。

(評議員)

小牛田中については、隣にトレセンの駐車場もあるし、牛飼地区は人も集中しているので避難所も兼ねた多目的に使えるような施設ができるのではないかと考えている。

(教育委員会)

跡地の利用についても皆さんの意見を聴きながら決めていくようになると思う。旧中卒小の跡地について企業誘致の場所として残している面もある。福祉施設などの話もちよいちよい聞かれるが。

